

日本の伝統色に関する色彩ソフトウェアの開発

橋本 美保*¹

光成 豊明*²

<概要>発表者らは、普段見慣れているような色ではなく、「利休鼠」、「鶯茶」といった日本古来の伝統色を表示できる色彩ソフトウェアの開発を行っている。本報告では、普段触れる機会のない日本の伝統色に関するソフトウェア版の色見本帳などを生徒（学生）達に提供することで色に対する興味が生まれると考えている。本ソフトウェアの機能の充実を図ることで、生徒達の感性を磨く色彩教育を初め、総合学習・生涯学習などの教育分野での活用を目指している。

<キーワード>教育用ソフトウェア一般・情報教材開発

1. はじめに

本研究の目的は、日本の伝統色を表示する中でコンピュータを楽しく操作することで学生（生徒）達にコンピュータそのものに興味を持ち、かつ日本の伝統色にも興味を持たせるような色彩ソフトウェアの開発にある。本ソフトウェアは、以下のコンセプトで開発を行っている。

- 1) 日本の伝統色を対象にする。
- 2) 表示した色の名称・解説などを提示する。
- 3) 直感的な理解や操作が可能なユーザインタフェースを考慮する。
- 4) 教育的な効果を配慮する

2. ソフトウェア構成

本ソフトウェアのソフトウェア構成を図1に示す。プログラムを実行すると初期画面となり、系統別に7項目に分類した「色見本帳」、十二単などの配色を扱う「配色アシスト」、日本の伝統色を時代別に分けて表示する「時代」および日本の伝統色を12項目のトーンに分類する「トーン」の各メニューが指定できる。

なお、本ソフトウェアでは開発言語として、

Visual Basic6.0を採用した。

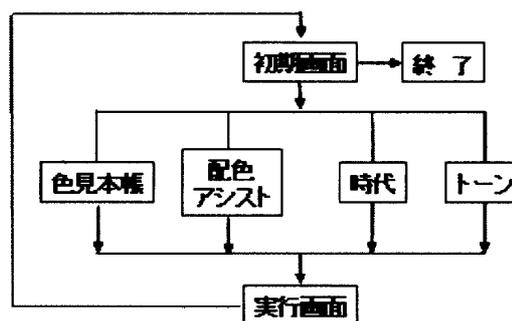


図1 ソフトウェア構成概略

3. 実行例

図2に「色見本帳」の実行例を示す。色見本帳は、系統別に赤、茶、黄、緑など7項目に分かれたコンボ・ボックスを選択することで、実行画面に色名・読み方・色票・解説・RGB表示・トーン（JIS一般色名）の各情報が表示される。

図3に「配色アシスト」の実行例を示す。配色アシストは、コンボ・ボックスからイメージを選択することで、そのイメージに対応した6色が実行画面に表示される。ここでは、12単

*1 MIHO Hashimoto : 明星大学大学院情報学研究科 e-mail=04mj010@edu.meisei-u.ac.jp

*2 TOYOAKI Mitsunari : 明星大学情報学部

e-mail=mitunari@mi.meisei-u.ac.jp

などの配色に使われるものを採用した。

なお、図3の例では、「雅」というイメージを選択している。

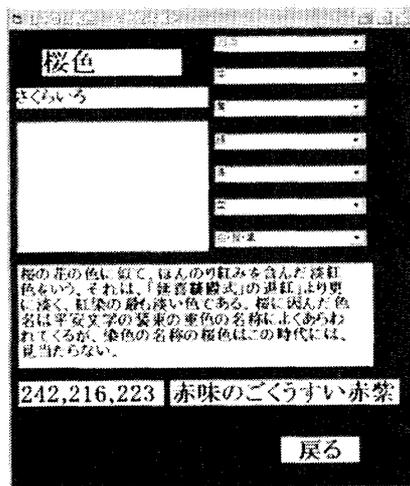


図2 色見本帳実行例

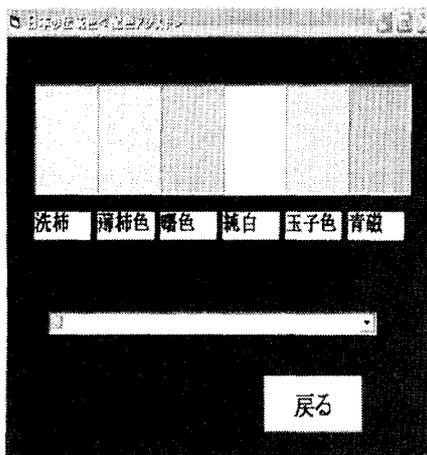


図3 配色アシストの実行例

これ以外に、「時代」・「トーン」がある。

「時代」は、色見本帳に表示される日本の伝統色を奈良時代前期から昭和初期までについて13期に分けて表示するものである。

「トーン」は、色見本帳に表示される色を12項目のトーン別（さえた、あざやかなど）に分けて表示するものである。

本ソフトウェアでは、この2つのメニューによる表示も可能であるが、紙面の関係で割愛した。

4. 効果

本ソフトウェアを光成ゼミ所属の3年生(16名)・4年生(14名)に利用させたところ、日本の伝統色に対して学生たちの興味を持つものが多く、さらに内部プログラムに対しても興味を持たせることができた。一部の学生には、卒業論文のテーマに取り入れるものを現れた。

市販されている色彩ソフトウェアとは違い、本ソフトウェア内のプログラムを総て見ることが出来るので、プログラムに興味を持っている生徒達の指導にも使うことができるものと思われる。

5. まとめと今後の課題

日本の伝統色に関して、色見本帳・配色アシスト・時代・トーンと限定したことで、本研究の目的である日本の伝統色の色彩ソフトウェアの試作版を作成することができた。本ソフトウェアは、専門家だけでなく生徒達の総合学習・体験学習、一般の方の生涯学習などでの利用が可能であると思われる。

今後の課題としては、本ソフトウェアに色を通して日本の歴史・文化に触れるような項目を付加すること試みたい。

参考文献

- 1) 長崎盛輝：「日本の伝統色」、青幻舎(2001)
- 2) 太田安雄：「色彩用語辞典」、東京大学出版会、日本色彩学会(2003)
- 3) 川崎秀昭・出井文太：「日本伝統色一色名辞典」、大日本印刷株式会社・日本色研事業株式会社・社団法人日本流行色協会(1993)
- 4) 秋吉裕子：「Visual BasicによるOSにおける色彩システムに関する研究」、明星大学卒業論文(2003)
- 5) 橋本美保：「Visual Basicによる色彩の表示に関する研究」、明星大学卒業論文(2003)